

平成25年11月27日

平成25年度「大学の世界展開力強化事業」に採択されました

【教育機能】

文部科学省の平成25年度「大学の世界展開力強化事業」に、本学の申請したプログラムが採択されました。

本事業は、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の受入れを行う国際教育連携の取組を支援するものです。平成25年度は、SEAMEO^{*1}-RIHED^{*2}が進めるAIMSプログラム^{*3}の枠組みの下行う高等教育連携プログラムを通じて、ASEAN諸国と我が国の学生交流を促進するとともに、ASEAN諸国との関係強化を図ることを目的としています。

この度、全国の国公私立大学から本事業に25件の申請があり、7件が採択されました。採択された本学の取り組み概要は、下記のとおりです。

記

【構想名称】 アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財教育プログラム

【実施期間】 平成25年度～平成29年度

【交流規模】 年間 受入25～28人、派遣25人

【構想概要】

本プログラムでは、タイのチュラロンコン大学およびカセサート大学、ならびにインドネシアのバンドン工科大学を交流大学とし、現地ニーズに応える学問分野である「①食品科学と農学」「②工学」「③経済学」「④言語・文化」の4専門分野において、学士課程における一学期間の学生交流を行います。

受入・派遣学生には、英語による講義を提供するほか、学生が協働して企画運営するセミナーや国際課題研究を通して、グローバル・コンピテンシー（5つの能力：語学力、発信力、交渉力、異文化理解力、リーダーシップ）の育成を図ります。

また、1年間の国際キャリア教育として、留学先および留学後の母国にて、アジアで事業展開する日本企業等での中長期インターンシップを提供し、実社会の即戦力となるための能力を鍛えます。

これらの取り組みを通じて、日本を含むアジア全体における共同の経済の発展と信頼関係の確立をもたらし、平和構築に貢献する中核的人財、すなわち、

- ① 「食の安全」を生物資源の生産から消費まで総合的に管理できる人財
- ② グローバル化する生産現場に対応できる広い視野を持った技術者、開発者
- ③ 地域経済の市場を制度や政策分析を通して把握し、経済発展に貢献できる人財
- ④ アジア全域の言語・文化を理解しつつ日本語教育を担う教員、日本語や英語を駆使しアジアと日本の橋渡しができる企業人や翻訳・通訳等のプロフェッショナル

の養成を目指します。

※1)SEAMEO (Southeast Asian Ministers of Education Organization/東南アジア教育大臣機構)
教育、科学技術、文化を通じ、ASEAN諸国間の協力を目的として、1965年に設立された機構

※2)RIHED (Regional Centre Higher Education And Development/高等教育開発地域センター)
「東南アジア教育大臣機構 (SEAMEO)」に設置された高等教育に関する専門機関。加盟国 (ASEAN加盟国及び東ティモール) における高等教育の研究・連携推進を担う

※3)AIMSプログラム (ASEAN International Mobility for Students Programme)

SEAMEO加盟国を枠組みとする、ASEAN統合に向けた政府主導の学部生向け学生交流プログラム

【お問い合わせ先】

教育・国際室 国際交流グループ 主査 中家さおり
TEL:082-424-6045 FAX:082-424-6179